

堀田賢逸通信

No.12 平成23年9月 発行
横手市平鹿町醍醐字醍醐98-2
電話0182-25-4011

9月議会 堀田賢逸一般質問

問 浅舞公園の「忠義な猫」にはすばらしいストーリーがあります。「忠猫」の名前を公募する事で浅舞公園と「忠猫」が話題になり、地域を元気にし、通年観光につなげる事が出来るのではないか。

答 地域の大事な歴史的、文化的な、あるいは伝承を含めた宝物を活かしたまちづくりをしてほしいと言うことで予算もついている。まず地元が燃え誇れるような物であるべきである。「浅舞しほり」について熱い議論を闘わしている平鹿町地域づくり協議会に私もお願いする。



公園と米を守った「いのちの番人」、
忠義な猫のストーリー

平鹿郡浅舞村(現横手市平鹿町浅舞)の伊勢多右衛門(1833～1914年)は慈善家として知られた。

凶作などの時、困窮した民衆を救うため感恩講を組織し、倉庫に米を備蓄した。また人々に憩いの場を提供するため私財を投じて浅舞公園の工事にかかった。だが野ねずみが大量に発生し、倉庫の米を食いあさり、公園の樹木や側溝、堤などまで破損させた。多右衛門は深く憂

えた。すると多右衛門が飼っているメス猫が、主人の願いをくんでねずみを退治した。

1907年(明治40年)2月15日、猫は13歳で亡くなるまで、日夜ねずみ退治に明け暮れた。こうして民衆の命を守る感恩講の米は守られ、浅舞公園も完成した。多右衛門は、世にまれな、この忠義な猫の功績を後世に永く伝えたくて、ここに碑を建立したのだった。

平成23年5月20日寄稿
小学校教諭 梁瀬 均 湯沢市出身

問 果樹産地再生支援事業について

答 今秋の収穫量、前年比で大きく減少すると見込まれる。現在取引している市場14社から11社に限定し取引を継続してゆく。果樹産地の信用を保つため努力する。共同防除組織が市内に53あるがその構成員も高齢化が進み、防除機械の維持管理で苦慮されている。今年の豪雪被害から早く再生するよう支援する。

私の質問以外で下記の答弁がありました。横手市農業経営安定化対策資金、○農果樹災害枠として5000万円新設、これで借り入れ枠が1億円に広がった。償還期間5年から10年と延長された。果樹薬剤支援、8月末現在1350戸から事業申請あり助成金額は1億200万円の予想である。

共同防除組織においては農薬代金の支払い期限前に支払う。個人防除には防除が完了する9月末までに助成金の支払い方法を周知する。

問 醍醐樋ノ口から桜沢に入ってくる道路について

答 ゴミ処理施設の整備計画に伴い、ゴミ運搬量の増大が予想され、平成24年度より実施予定の県営基盤整備事業で旧横莊線跡地を用地として確保し現道のバイパスとして整備を行うよう協議している。

問 外の目丁字路を十字路交差点に改良し、押しボタンの信号をつける事ができないか。

答 JR外の目踏切との関係や国道東側から交差する市道外の目・楨沢線交差角度等大変難しい課題もあり関係機関と協議していく。

問 県道108号川連増田平鹿線について県との話し合いは。

答 石成地区の拡幅は、今般の国道13号改良工事に合わせて事業進捗を図るため県から協力依頼を受けており協力する。

腕腰地区の拡幅は家屋が連なっており事業化へのハードルが高くルートを含め多方面からの検討をいただけるよう要望していく。

問 中央線、八幡根岸線の工事の進捗状況は。

答 中央線は平成21年度より新規整備路線となり県、市とも事業に着手している。事業計画は平成21年度から平成27年度、施工延長604.2m全体事業費42億55百万円であり、現在の進捗率は県5%市5%となっている。八幡根岸線は中央線の進捗状況を見ながら事業採択となるよう努力していく。

平成23年9月議会の一般質問で
出された回答等。

ゴミ処理施設の一連の流れと答弁

平成22年7月ゴミ処理施設設置場所公募に30地区の応募あり5箇所へ絞り込む。建設反対の陳情が平成22年12月議会に向け6件、平成23年3月議会に向け6件等が約6000名の署名とともに提出された。陳情は平成22年12月議会で慎重審議され不採択となった。その後出された陳情は同じような内容と言う理由から却下された。現在の場所は平成22年9月候補地に決定。現在「生活環境影響調査」が行われ平成23年11月で終わる予定。今まで全体説明会、町内説明会が49回実施され1095人が参加した。

この後、地域との意見交換会を実施し生の声を聞く事になっている。

不在建物について平成23年冬と7月に状況調査した。住宅施設 611棟 商業施設17棟 工業施設11棟 農業施設 9棟 合計648棟ある。倒壊の危険が考えられる36棟、再利用が考えられる487棟、隣家に影響あり53棟、道路に影響あり40棟、隣家と道路の両方に影響あり95棟。

市有財産は絵画277点、書画70点、美術工芸品1014点ある。利活用は今後の課題である。

高性能林業機械視察と講演



横手市林業活性化議員連盟(堀田賢逸会長)では、平成23年8月22日(月)、横手市山内地区で議員等25名の参加のもと高性能林業機械(ハーベスター、横手森林組合所有)の作業現場を視察しました。「百聞は一見に如かず」の如く良く理解できました。その後 秋田県森林組合連合会会長 佐藤重芳氏から「全国と秋田の森林・林業の現状と将来について」講演していただきました。

内容はアメリカ科学雑誌サイエンスに発表された「気候における森林の役割、考えられており大きかった研究成果」の紹介であり、熱帯地方では食料や燃料生産、開発のために森林を伐採している、国土の7割が山である日本が外国から木を買うことは問題が多い、と鋭い指摘をいただきました。